

都市再生整備計画(第4回変更)

いきつきちく

生月地区

ながさきけん ひらどし
長崎県 平戸市

平成20年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長崎県	市町村名	ひらどし 平戸市	地区名	いきつきちく 生月地区	面積	180 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標

大目標: 住民が安心して活力をもって暮らせる環境づくりと、共生・協働のまちづくりの創出

目標1 住民の安全確保と生活基盤の整備を図り、居住環境の向上につなげる。

目標2 住民が安全に安心して住みつけるまちとして防災防犯機能の充実を図る。

目標3 住民が共に支えあうまちづくりのために施設整備を行い、コミュニティの形成や住民が主体性をもったまちづくりにつなげる。

目標4 住民が活力をもって暮らせるまちづくりのため、まち文化を継承すると共に第1次産業の活性化を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・生月地区は旧生月町の中心に位置し、庁舎や商店、住宅が海岸から丘陵に向かって林立しており以前から一つのまとまった地区として生活圏を形成している。しかし、近年基幹産業の衰退に伴う経済の冷え込みや人口が減少し、少子高齢化が進行しており安心して暮らせるまちづくりや住民のコミュニティの形成が求められている。

・第3次旧生月町総合計画では、産業の育成と共に住みたくなるまちづくりや参加と連携のまちづくりを目標に掲げており、特に町の中心部の当地区での事業推進が重要であると考えられる。

・当地区では以前から婦人会活動が

課題

・人口減少・少子高齢化の進行のなかで、産業や就業機会の創出と併せ、高齢者を始めとする住民が安心して暮らせる穏やかでふれあい豊かな社会づくりを推進していくことが求められている。

・定住人口を維持していく上で生活基盤の機能充実が求められており通学路等の歩道整備や自然を活かした公園整備を行う必要がある。

・住民が安全に安心して暮らせるまちづくりのために不可欠な消防防災機能の充実や防犯街路灯の整備を行う必要がある。

・近年、希薄になりつつある住民のコミュニティの形成や捕鯨・かくれキリシタンに代表される独自の歴史

将来ビジョン(中長期)

・快適に住み続けるための環境づくりや生活基盤の向上を図り、中高年齢者や若い人にとっても安心して、また活力をもって暮らせるまちづくりの創出。

・人材育成とまちづくりへの主体的な参加を高め、町民と行政が協力し合う協働のまちづくりの創出。

・第3次旧生月町総合計画では、生活基盤機能の向上や交流活動推進による地域づくり等が方針とされている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
消防水利充足率	%	消防水利の基準	耐震性貯水槽の整備により消防水利の充足を図ることで、住民が安心して暮らせる社会環境を目指す。	54.2	H15	70	H20
街路灯の平均設置距離	m	通学路における防犯街路灯の平均設置状況	主要な通学路である沓部中央線における街路灯の不備が防犯上危惧されていることから安心・安全な通学環境を目指す。	229	H15	94	H20
施設利用回数	回/年	地域交流センター利用回数	地域交流センターの利用状況により、住民のコミュニティの形成や協働・共生のまちづくりの住民意識の昂揚を目指す。	160	H15	300	H20

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(安全確保と生活基盤の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が安全に安心して暮らすためには生活基盤の向上が不可欠であり、主要な通学路における歩道の整備を行う。 ・通学路において防犯体制上危惧されている防犯街路灯の整備を行い、安心して生活できる社会環境を形成する。 	<p>道路事業(基幹事業)、高質空間形成施設整備(基幹事業/街路灯)</p>
<p>整備方針2(防災体制の確立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が安心して暮らせるまちを形成するために、耐震性貯水槽の設置を行い住宅地の防火体制の強化を図る。 ・消火体制機能の充実のため消防団詰所の整備を行い総合的な防災体制の確立を図る。 	<p>地域生活基盤施設整備(基幹事業/消防防災施設(耐震性貯水槽、備蓄倉庫))</p>
<p>整備方針3(共生・協働のまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の社会状況により希薄になりつつある住民のコミュニティーの形成を図り、住民が共に支えあう共生の社会実現のため地域交流センターを拠点とした活動を行う。 ・地域内外の人びとが恵まれた自然の中で交流を深め、また、それを通じて活力をもって生活できるように公園の整備を行う。 ・住民が主体性をもった協働のまちづくりのため地域リーダーの育成やさまざまな活動支援を行うと共に、第1次産業の活性化を図る。 	<p>高次都市施設(基幹事業/地域交流センター)、公園事業(基幹事業)、まちづくり活動推進事業(提案事業/コミュニティ形成、地域リーダー育成事業等)</p>
<p>整備方針4(事業効果分析による今後のまちづくり計画の検討)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間の成果、費用対効果の調査を行い、今後の将来ビジョン、目標、課題を検討し、今後のまちづくりの活性化を図る。 	<p>事業活用調査(提案事業/事業効果分析)</p>

その他

事業終了後の継続的なまちづくり活動

当地域では、住民のコミュニティーの形成のため学童・幼児へのよみきかせ教室や料理教室などのボランティア活動での教室が行われており、今後も高齢者間のふれあいの場や若壮年者のリーダー育成など地域の実情に沿った活動を実施する方針である。また、施設の維持管理や清掃等については「自分たちの施設」という観念のもとに地域住民が実践していくことで、住民参加のまちづくりを行なう方針である。

防災防犯体制の方策について

今回整備を行う消防防災施設の効果を最大限に活かすため、地域における初

都市再生整備計画の区域

生月地区(長崎県平戸市)	面積	180 ha	区域	平戸市生月町壱部浦の全部と壱部、里免の一部
--------------	----	--------	----	-----------------------



生月地区(長崎県平戸市) 整備方針概要図

目標	住民が安心して活力をもって暮らせる環境づくりと、共生・協働のまちづくりの創出	代表的な指標	消防水利充足率 (%)	54.2	(H15年度)	70	(H20年度)
			街路灯の平均設置距離 (m)	229	(H15年度)	94	(H20年度)
			施設利用回数 (回/年)	160	(H15年度)	300	(H20年度)



